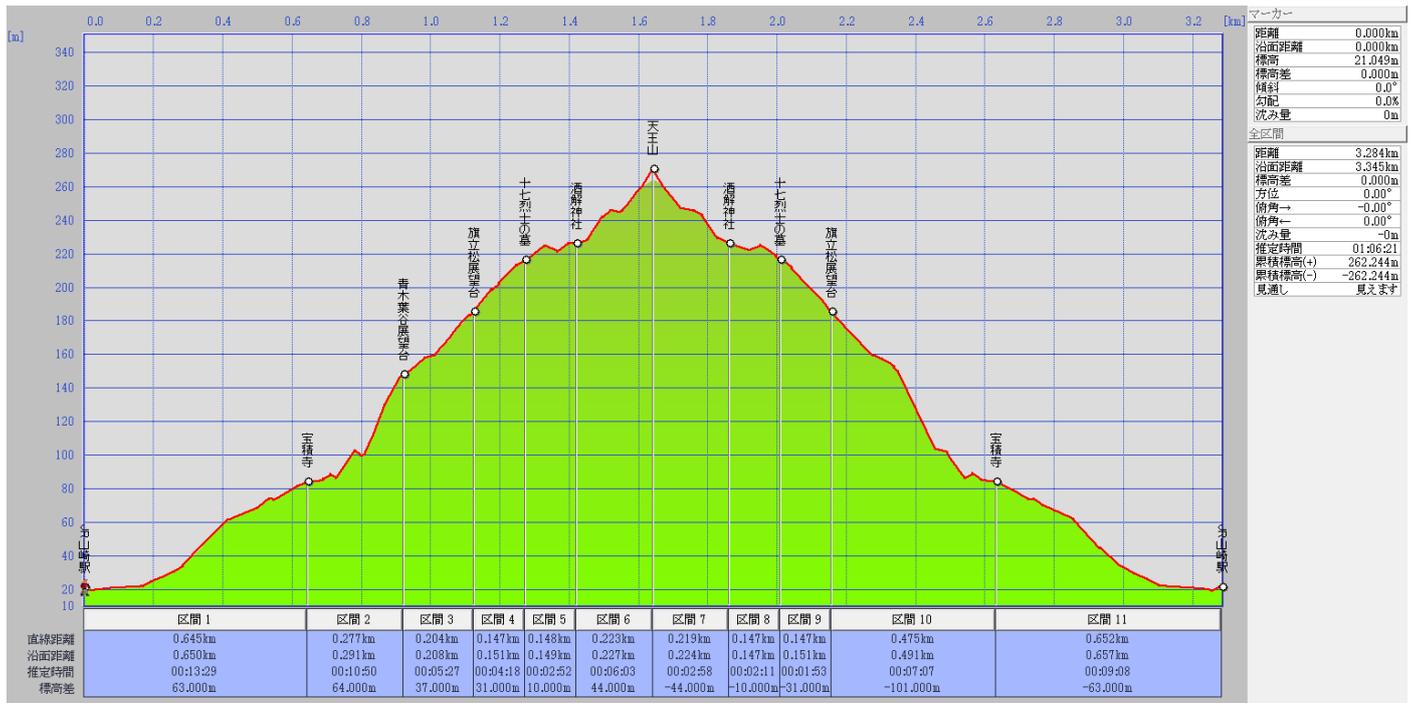


一スマホアプリ実施講習一 登山は選択(整置)の連続である GPS ハイキング「天下分け目の天王山」

登山で 1 番多い遭難の原因が「道迷い」です。アナログのコンパスと地図を使ったルートファインディングの補助が出来る便利なものがスマートフォンに事前に導入できる「登山アプリ」です。併用することで「道迷い防止」も出来、コンパスと地図の地形の読解力もアップします。両方を学習しながら「天王山」の頂を目指します。「天王山」は羽柴(豊臣)秀吉と明智光秀による山崎の戦いや、幕末の禁門の変で知られるは気軽に登ることができる標高約 270 メートルの山で、登山道は整備されているため「登山アプリの GPS」を学習するにはピッタリです。



- ・地形図の印刷・スマホへの地形図のダウンロードはコースのみだけでなく山域の全域を選択する
- ・地図の西偏角度を調べて地形図に磁北線を引く、もしくはアプリでダウンロードする
- ・地図上で出発地から頂上へ線を引き整置角度のメモを取る、目標物が見える際は現地で整置する
- ・コース決めをしたら地図上に線を引く、もしくはアプリでトラックログを引く。
- ・地形図に出発地点など分岐や目標地点の高度を記入しておく。今回は山崎駅 32m
- ・現地で電波の届く地点で「登山アプリ」を立ち上げる。
- ・地形図の縮尺と縮尺距離の確認地図上の 1 cmは 1/10000=100m 1/25000=250m 1/50000=500m
- ・事前に磁北線を引いておくと整置作業が正確になる。
- ・等高線の標高差を知る 太い計曲線=50m 細い主計曲線=10m 地形図上の表示で標高はわかる。
- ・等高線の主計曲線の 10mの標高差でもアップダウンがあることを知っておく。
- ・コースのアップダウンの回数をおおまか把握しておく。
- ・平均の登山時間は登り標高差 300mは 1 時間、標高差 100mは 20 分ということを意識する。
- ・下山後はアプリはオフにすることを忘れない事。
- ・補助電源は必須であり、日帰り宿泊に関わらずスマホの充電はしっかりする。
- ・冬場はスマホを使える手袋が便利、タッチペンがあると便利。保温にも留意する。
- ・スマホの電源切れ、故障、防水、不具合、アプリの不調、紛失も発生する場合がある。